

聴こえる、キコエヌ、ピンーピンーびん、ミエテンマツタ、踏の瘤。望息するよ、塵畑！転覆反転 UNICA ZÜRN et HANS BELLMAR。
ハンス・ベルメールは自らの内臓を絹と化し、ウニカ・チュルンの視線はハンスの内臓となる。阿呆船。乗り込め乗り込め革新だ！

Hans Bellmar

2014年3月1日土曜～9日日曜：小林嵯峨「処女改革—蜂起/放棄した美女の芳香/咆哮」
●小林嵯峨初の絵画個展：13～18時（5日は映像上映のみ）
●公演：19時30分～（5日のみ14時～）

- 1日土曜 オープニングパーティ 嵯峨による小舞台、出演者の紹介 無料
- 2日日曜 小林嵯峨舞踏ソロ公演《私のウニカ》10人限定お土産付 5000円
- 3日月曜 小林嵯峨舞踏ソロ公演《私のウニカ》10人限定お土産付 5000円
- 4日火曜 村田慶之輔と嵯峨と宮田のトークセッション《踊る絵画》2000円
- 5日水曜 映像上映 協力：坂田洋一《小林嵯峨が選んだ小林嵯峨—改革する自己》
出入り自由 2000円
- 6日木曜 博美舞踏公演《gynoidの血》榎木ふく舞踏公演《愛と死》2000円
- 7日金曜 岡田多恵子+宮保恵《降りて行くよ》監修：宮田徹也 2000円
- 8日土曜 小林嵯峨舞踏ソロ公演《私のウニカ》10人限定お土産付 5000円
- 9日日曜 小林嵯峨舞踏ソロ公演《私のウニカ》10人限定お土産付 5000円

●予約：ストライプハウスギャラリー
Tel:03-3405-8108 (平日11～18:30) Fax:03-3403-6354 E-mail:info@striped-house.com

Unica Zürrm

- 5日上映内容 計305分 小林嵯峨による解説付
- 1.「月姫・無意識の花」(小林嵯峨+NOSURI 公演) 119分
撮影：栗栖峰夫 1999年12月シアターラム
 - 2.「逃走/フーガ」(小林嵯峨ソロ公演) 66分
撮影：後藤 治 2001年6月 plan b
 - 3.「半分夢」(小林嵯峨ソロ公演) (スライド) 20分
撮影：坂田洋一 2007年6月シアターパピロン
 - 4.「短夜」(小林嵯峨ソロ公演) 100分
撮影：坂田洋一 2013年7月 KID AILACK ART HALL

©小野塚誠

「素描の舞踏」

2014年3月1日土曜～9日日曜：小林嵯峨と新人たち 6月14日土曜～20日金曜：古関すまこと新人たち
開催場所：ストライプハウスギャラリー

●企画・制作：TRB委員会 ●協力：ストライプハウスギャラリー ●担当：小林嵯峨・宮田徹也 / 古関すまこと・長谷川六
●「素描の舞踏」問合せ：roku@abox5.so-net.ne.jp (長谷川) nkbskmt@kve.biglobe.ne.jp (宮田)

ベルメールとの共犯的關係において、サディズムとマゾヒズム、エロチズムのなか、究極の錯乱と狂気の舞台へと昇り遂には高所よりの転落自死を遂げてしまったウニカ。しかしそれは悲劇ではなくタナトフィリアへの憧憬の実現という歓喜に満ちた行為だったのだ。深くと墜ちてゆくその過程で無垢が、純潔が否応もなく立ち上がる。共に墜ちて!! 愛するウニカ。真の革命は愛からしか始まらない。(小林嵯峨)



小野塚誠



小野塚誠



小林嵯峨《私のウニカ》



宮保恵

小野塚誠



岡田多恵子

小野塚誠

●**小林嵯峨**：1969年より土方巽に師事。燐機大踏鑑には1975年まで在籍。第2次暗黒舞踏派の主力メンバーとして伝説的の舞台となった、1972年「四季のための二十七晩」、1973年「静かな家」など全ての作品に参加。その後〈彗星倶楽部〉を立ち上げるが、1987年からソロ活動を開始する。1983年、芦川羊子と共にJapan Festivalに参加、ヨーロッパ6カ国を巡演。また、ドイツ、アメリカ、フィンランドなどにおける舞踏フェスティバルにも参加、公演を行う。1998年にグループ名を〈小林嵯峨+NOSURI〉と改名。『アウラ・ヒステリカ』をテキストとする【アウラシリーズ】を展開身体と心の無意識領域を探る。その後もソロ、グループ公演、客演、コラボレーションなど積極的活動を行う。2012年12月、「半分夢」以来5年ぶりのソロ公演「真冬の幽霊/ベルメール炎上」をキッド・アイラック・アート・ホールで行い、2013年7月には同会場で「短夜(みじかよ)…非在のものが顕われる/そして再びベルメール…」の三日連続四公演を果たす。

●**村田慶之輔**：1931年生まれ。美術批評家。文化庁文化部芸術課専門職、国立国際美術館学芸課長、川崎市岡本太郎美術館館長を経て、現在軽井沢アートミュージアム館長。

●**宮田徹也**：1970年生まれ。日本近代美術思想史研究。岡倉覚三、宮川寅雄、針生一郎を経て敗戦後日本前衛美術に到達。ダンス、舞踏、音楽、デザイン、映像、文学、哲学、批評、研究、思想を交錯しながら文化の【現在】を探る。

●**坂田洋一**：2007年「半分夢」より主な小林嵯峨公演を撮影している。

●**博美**：ジャズダンス、コンテンポラリーダンスを経て舞踏へ、舞踏・小林嵯峨+NOSURIのメンバーとして作品に出演する。ノイズとダンスのユニット「maguna-tech」を共同主宰、舞踏ユニット「琥珀」を共同主宰、ソロでの舞踏作品の創作などを行う。

●**榎木ふく**：演劇活動を経て、2007年に舞踏家・小林嵯峨に師事。その後の主な作品に参加。2011年にテルプシコール新人シリーズにて初ソロ作品発表。以後、子育てをしながらソロを主に活動する。

●**宮保恵**：音大在学中にミュージカル劇団に所属、その後コンテンポラリーダンスに没頭する。05年創作活動開始。07年宇宙人ユニット chiffon 結成。年に1~2本ペースでソロ作品を発表しつつ、あちこちで即興で踊っている。

●**岡田多恵子**：哲学理論、演劇実践、古典演奏、前衛パフォーマンスを交錯させる。失われたディオティーマ、現存し続けるナジャ、未来のイヴ、そして岡田多恵子。(宮田徹也)

ストライプハウスギャラリー

〒106-0032 東京都港区六本木 5-10-33-3F
Tel:03-3405-8108 Fax:03-3403-6354
E-mail:info@striped-house.com

